

施設選定における基準(案)について

1 本市が目指す「幼保連携型認定こども園」

本市では、子ども・子育てに係る様々な課題の解決に向けて、保護者の就労状況等にかかわらず、希望するすべての3歳以上の就学前の子どもに、小学校以降の教育との連続性を大切にした学校教育を、保育を必要とする0歳から就学前の子どもに、家庭に代わり、発達過程に応じた保育を、等しく提供できる環境の確保を目指しています。

このため、幼稚園と保育園の機能を持つ幼保一体化施設として、「幼保連携型認定こども園」の整備を進めていきたいと考えています。

2 施設選定における基準(案)

(1) 選定基準1 施設の状況(必要な施設規模)

① 敷地面積 2,000 m²以上

【参考】

- ・ 園舎面積 3歳児以上最低各1クラス(420 m²) + 0歳・1歳児(120 m²)
+ 2歳児(25 m²)
- ・ 園庭面積 3歳児以上(400 m²) + 2歳児(40 m²)
- ・ その他 遊戯室、調理室、便所、職員室、会議室

② 施設の定員 120人以上

③ 保育室 5室以上

(2) 選定基準2 設備の状況(必要な設備)

① エアコン設置の有無

② 調理室の有無

(3) 選定基準3 入園児童数

20人以上(過去5年の平均入園児童数)

【参考】

- ・ 施設型給付・委託費の対象施設については、地域型保育事業との区分を踏まえ、保育所、認定こども園の利用定員は20人以上とする。(国の子ども・子育て会議(H25.12.26)で取りまとめ)